

アイデアを実現するため、  
いつでも相談に来てください！



これまで意見交換を重ねてつくりあげてきた地域のまちづくりのアイデアを実現化するために、相模原市では4月以降も、随時、まちづくりのアイデアの進捗状況に応じて、みなさまの支援を行います。



実現するための道筋がまだ明確になっていない方は、相模原市都市計画課（4月から市役所の組織改編があり、新しい部署になります）や相模湖まちづくりセンターで、随時、相談を受け付けております。「こんな人と一緒に活動したいんだけど」、「制度の仕組みがよく分からない」、「活動資金はどうすればいいの?」といったお悩みにお答えします！どんな些細なことでも構いませんので、気になることはどんどん相談に来てください。

さらに、まちづくりのアイデアをプロジェクトとして活動をスタートさせた後も、他の活動をしている方々との情報交換の場として、中間報告会や成果報告会を開催する予定となっています。

地域を盛り上げていくために、少しずつできるところから、まちづくりのアイデアの実現化に向けて頑張ってください！市役所も応援しています！



**お問い合わせ** 4月から組織が変更されます

相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 都市計画課

Tel: 042-769-8247 (直通) E-mail: toshikeikaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

相模原市 緑区役所 相模湖まちづくりセンター 総務・地域振興班

Tel: 042-684-3240 (直通) E-mail: sagamiko-cen@city.sagamihara.kanagawa.jp



全5回のワークショップを終えて  
まちづくりのアイデアが  
まとまりました！

相模原市は、相模湖駅周辺地区と小原宿地区を対象に、地域住民のみなさんが主体となって実現する「まちづくりのアイデア」を検討するため、全5回のワークショップを開催してまいりました。

最終回となる第5回ワークショップを2月18日（土）、夜7時から開催いたしました。今回、相模湖駅周辺地区は10名、小原宿地区は8名の方々にご参加いただきました。

テーマは「まちづくりのアイデアを完成させよう！」です。今回は最終回のスペシャルゲストとして、コミュニティデザインが専門である東京大学小泉秀樹教授をお迎えして開催しました。

これまでのワークショップで議論してきたり、宿題として新たに考えてきていただいたまちづくりのアイデアについて、意見交換を重ねました。それぞれのアイデアごとに、中心となって活動するリーダーやメンバーも決めることができました。

最後に、相模湖駅周辺地区と小原宿地区での意見交換の成果を全員で共有しました。各アイデアの発表にあたっては、それぞれの発案者の方に内容を説明していただきました。小泉先生からは、各アイデアの良いところやもう少し考えた方が良いところなどを個別に講評していただきました。そして、全員で記念撮影をして最終回となるワークショップが閉会となりました。1年間、本当にお疲れさまでした！



※ワークショップ：講義などのように一方的に知識を伝達するのではなく、参加者が主体的に参加し、体験や話し合いを共有する中で、互いに何かを気づいたり学びあったり創り出したりする場

# まちづくりのアイデア

## —相模湖駅周辺地区—

相模湖駅前のポイントがバラバラでつかみにくいで、知らないところもたくさんあるけれど、知っていて良いところもたくさんあるので、そういうことをみんなで共有したい！（吉良さん）

### プロジェクトNO. 1 相模湖たんけん隊

知っているはずなのに実は知らない自分たちのまちを自分たちで知り、相模湖周辺をPRします。将来的にはさまざまな人をつなぐ役割を担い、地域の人口増加を目指します！

とても良いアイデアですね。地大豆の畑など小原宿のプロジェクトも行ってみて情報発信すると、地域で何が起きているのか見えてくるのでは。難しく考えずに、チームをつくって情報発信していけば良いものができるかもしれませんね。（小泉先生）

相模湖は素敵な良いところだといつも思っています。この場所を活用していきたいです！（淵上さん）

### プロジェクトNO. 2 湖畔の店舗活用と“ウェルネス”宣言

高齢者の健康増進のため、駅からの動線をウォーキングルートとして設定しつつ、相模湖周辺の空き店舗の活用を行い、湖のまちとしてのブランド力をつけます！

空家は貸し出す意志のない大家さんも多く、まずは現状の調査をするということなので、とても良いと思いました。野菜やパンを作っている人を集めると新規就農者の人と繋がりができて、いろいろと発展できるのではないのでしょうか？上手くいさそうですね。（小泉先生）

音楽と湖のまちをコンセプトに、小さな住民活動が始まるとよいです！中長期的には大額のまちとして知名度が上がっていくといいです！（エレニャさん）

### プロジェクトNO. 3 （仮）音楽や祭りでもちを活性化しよう

「音楽と湖」、「新ふるさとまつり」、「みんなで相模湖音頭を踊ろう」をキーワードに住民活動を活性化してわがまち意識を高め、まちを活性化します！

参加型で行うというのがとても良いと思いました。ちょっとした活動から仲間づくりを始めることが大切ですね。どこでどんなことができそうかを調べて、まずは自分たちがやってみることが大切ですね！他の活動とも連携してはどうでしょうか？ここにしかないイベントに育つといいですね。（小泉先生）

小原を訪れる人たちや地元の人たちが気軽に小原らしさを感じられ、憩えるような空間になればと思います。そして、そのような空間がまち全体に広がっていくことを期待します。（永井さん）

アイデアの発案者の方の想いと、小泉先生のアドバイスです！



## —小原宿地区—

小原宿活性化推進会議の小原の郷活用部会に所属しているので、これまでの活動をもっともっと大きく広げていきたいです！（芦澤さん）

### プロジェクトNO. 4 小原宿活性化推進会議の活動を広げる！

登山客や観光客など地域の外の人にもっと気軽に小原の郷に立ち寄ってもらえるように、定期的に開催するイベントを増やし、盛り立てていきます！

フリーマーケットが定期的で開催されると参加しやすくなりますね。食べ物の販売は衛生的な食べ物は何かなどを整理して、必要な手続きは市役所にも一緒に交渉してもらいましょう！（小泉先生）

相模湖全体で1日遊べる場所にしたい、もっと人やまちがつながる活動をして、旅の目的地として「相模湖」を選んでもらいたい！（中里さん）

### プロジェクトNO. 5 相模湖観光クラブ

登山などで訪れた観光客が小原宿や相模湖周辺を楽しめるように、昔あった相模湖観光クラブを復活し、観光や商業の活性化を進めます！

今の子ども達に電子ゲームではない、昔の子ども達が夢中になった遊びを教えたい！大人も一緒に童心に帰って遊んでほしい！（チャドリーさん）

### プロジェクトNO. 6 集会所で子供と遊ぶ

まずは集会所で子どもも大人も一緒にあそぶイベントを開催しながら活動を広げ、子どもたちが、地域みんなが、気軽に集まれる場所を作ります！

アイデアがとても素晴らしいです！ひとりでやるのは大変なので、一緒にやってくれるお母さんネットワークもあるといいですね。仲間を募って、企画づくりから始め、とにかく1回やってみましょう！その後少しずつ軌道修正していけば良いのではないのでしょうか。（小泉先生）

子ども達が小原の良き時代を知ること、自分たちの住む街に興味を持ち、未来（理想）の小原について考えてもらいたい！（チャドリーさん）

### プロジェクトNO. 7 子どもたちに小原の昔を伝えよう！

子どもたちがお年寄りから昔の話を聞いて小原の昔の様子を知ること、自分たちの住むまちに関心を持ち、地域の将来を考えてもらうためのきっかけづくりを行います！

昔の歴史を学ぶというのはとても良いので、ぜひやっていただきたいです！（小泉先生）

地域に伝わる在来大豆の存在を知り、これを後世に伝えたいと思いました。この地域で育った作物で昔からの手作りの調味料を継承する為、種まきから収穫までの農体験ができるような地域づくりを目指したい！（石山さん）

### プロジェクトNO. 8 おいしい！を手作りしよう

相模湖にある地大豆（津久井大豆）をもっと地域の人に知ってもらい、大豆を活かして、美味しく楽しい体験ができる機会づくりを行います！

素晴らしい可能性があります！援農をしてくれる人を集めたり、活動を見てもらえる機会づくりやPRがポイントになりますね。上手く伝えられるとすぐに仲間が集まりそうです！（小泉先生）

### プロジェクトNO. 9 プチ古民家カフェ

宿場町である小原宿に残された古民家を活用して、ハイカーや観光客が休憩できる古民家カフェを開店します！

### プロジェクトNO. 10 里の景観ルートの眺望ポイントの整備

小原宿の景観を楽しんでもらうために、里の景観ルートの眺望を改善し、休憩できるように眺望ポイントを整備します！